

# 治る可能性がある認知症

## 正常圧水頭症

尿失禁やもの忘れが現れます。歩き方に特徴があり、足を左右に広げ、すり足や小刻みな歩き方となります。集中力や注意力が散漫になったり、何もしないでぼーっとしていたり、声かけに反応が遅かったり意欲の低下などが起こる事もあり認知症の症状によく似ています。

脳が髄液に圧迫されて認知症状が現れる病気で手術によって治療できます。

## 甲状腺機能低下症

甲状腺ホルモンの分泌が悪くなり、活動性が低下する病気です。

倦怠感、気力低下、皮膚の乾燥、浮腫などの症状がみられ、進行すると記憶障害などがみられ、認知症の原因となる病気のひとつです。

血液検査で診断する事ができます。

## 慢性硬膜下血腫

頭を打ったり、頭をぶっつけた後、しばらくしてから脳の中に血液がたまって起こる病気です。

もの忘れや足を引きずって歩く、手が拳がりにくい、トイレが間に合わないなどの症状が出てきます。けがをしてから症状が出てくるまで3週間～6週間位あります。

ほとんどの場合、外科手術で治療できます。

★ お薬の影響で「認知症」のようにみえる場合もあります。

薬の種類や量が増えると、認知機能の低下を誘発することもあります。薬の服用を始めてから「幻覚・妄想」があるなど少しでも異常を感じたら、かかりつけ医にご相談ください。

**認知症が急に発症することはありません！！**



多剤・多量服薬や副作用により認知機能の低下を誘発する可能性がある薬剤

抗精神病薬 抗うつ剤 抗不安薬 睡眠導入剤 利尿剤  
降圧剤 鎮痛薬 抗アレルギー剤 副腎皮質ステロイド剤 など